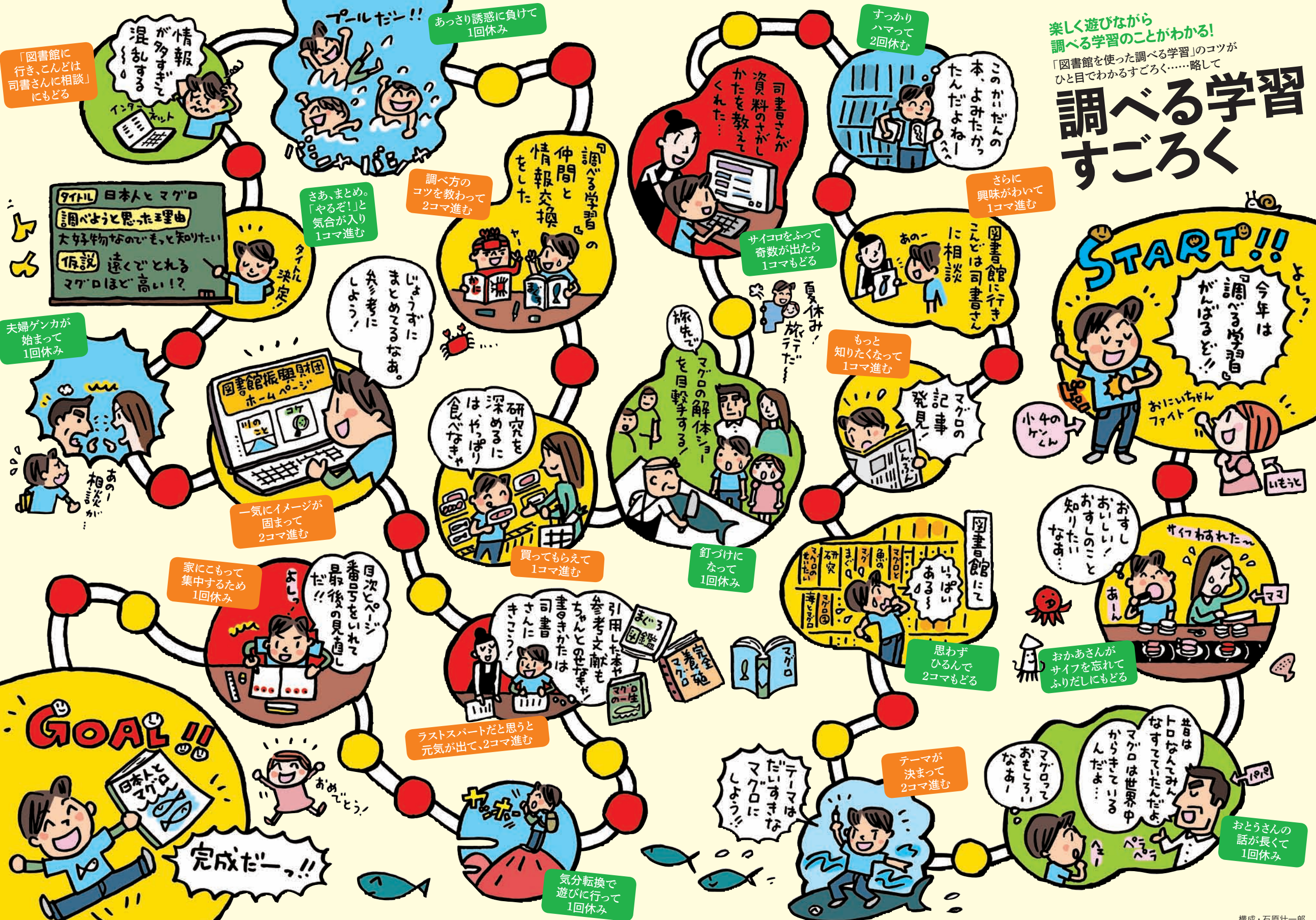


楽しく遊びながら
調べる学習のことがわかる!

「図書館を使った調べる学習」のコツが
ひと目でわかるすぐらく……略して

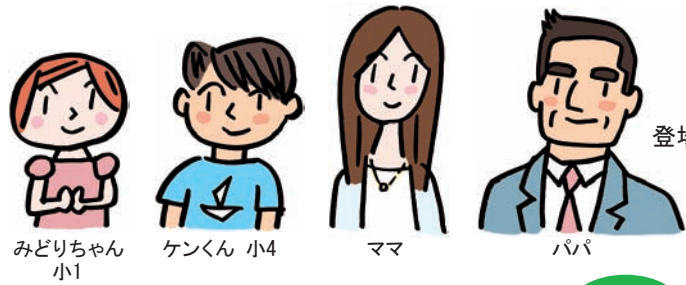
調べる学習 すぐらく



START!!
今年「調べる学習」がんばるぞ!!
おにいちゃん「マイト」
「いそげ」

GOAL!!
完成だー!!

[特集] 早わかり!! 図書館を使った調べる学習



登場人物の紹介



さあ、はじめよう「調べる学習」の4つのステップ

「調べる学習はたいへんだ!」と思っていませんか? テーマを見つけて、調べて、まとめているのは、最初こそ、ちょっとたいへんですが、決してむずかしいものではありません。やってみれば、のめりこんで、案外たのしいもの! ここでは、地域の図書館へ行って調べずめる方法をご紹介します。

その4 書いてまとめよう

まとめ方はひとつではありません。友だちに自分が調べたことを教えてあげるつもりで書いてみよう。

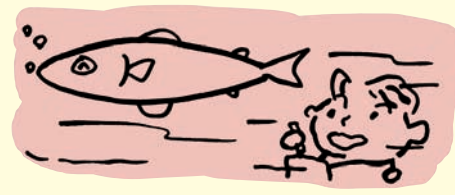
- なぜ、そのことを調べたいと思ったのかな?**
まず、「どうしてこのテーマを選んだのか」、そのきっかけを書こう。「そうか、こういうことに疑問をもったからなんだ」と読んだ人に伝わるだけでなく、自分でも「このテーマを選んだ理由」をしっかりと意識することができます。
- なにをどうやって調べた?**
大事なのは、どのように調べていったのか、そのみちすじなのです。読む人に伝わるようにまとめよう。
- 目次をつくらう**
説明しやすいように、書き出したメモをならべかえてみよう。全体のストーリーを考えるのにまよったら、だれかに読んでもらって、読む人にわかりやすい組み立てを目指そう。
- どこでなにを調べたか、まとめよう**
調べるために歩いた、訪れた場所、話を聞いた人、調べるときに使った図書館を書きます。このときにメモが役立つ!
- 調べてわかったことに対して、どう考えたか?**
調べてわかったことについて、自分が思ったこと、考えたことを自分の言葉で書いてみよう。調べる前と、調べ終わって考え方が変わった点も書こう。
- タイトルはとっても大事です!**
自分のテーマが伝わるようなタイトルを考えます。デザインや見せ方を工夫して、たのしい表紙を作ろう。自分の名前、学校名を書くのも忘れずに。



その3 もっと調べるメモをとろう

まちや自然の中にも出かけよう! 図書館では調べきれない発見があるよ。調べてわかったこと、また調べた本について(本のタイトルや書いた人など)、ノートに記録していこう。

- 実験しよう、観察しよう**
植物や昆虫、動物などを調べるときは、観察や、実験も、良い方法です。どんな方法があるか、またどれくらい時間がかかるのか、などを調べて、道具をそろえて計画を立てよう。思うようにいかないこともあるかも知れないけど、それもひとつの結果なので、きちんと記録しておこう。



- 博物館・動物園・資料館に行こう**
実物にふれたり、専門の資料などを見ると、ものの見方や考え方が広がることもあるよ。そのときの自分の気持ちもメモしておく、まとめるときに役立つ。おうちの人にたのんでどこかへ連れていってもらっちゃおう。
- 人の話も聞いてみよう**
そのことに詳しい専門家などに手紙を出せば、返事がきて疑問にこたえてもらえるかもしれません。もし、会ってくれることになったら、どんなことが知りたいのか、あらかじめ質問をまとめておこう。アンケート調査をして、結果を分析するのも有効です。
- そして図書館へ**
図書館の外で、体験したり話を聞いたり観察したりして、わかったことを、図書館に戻って、たしかめてみよう。また、あらたに浮かんだ疑問やふしぎも調べてみよう。

その2 図書館で調べる

地域の図書館や学校図書館をのぞいてみよう。開館日や時間を調べることも忘れずに。

- 図書館に行ってみよう**
図書館は知識の宝庫です。書棚をながめて、テーマに関係した本やパンフレット、新聞記事をさがそう。ふしぎや疑問にたいするヒントが見つかります。
- 司書さんに聞いてみよう**
知りたい内容の本がさがせない時は、司書さんに相談してみよう。関連した本の見つけ方、調べ方を教えてください。
- 百科事典は強い味方**
テーマそのものについての本のほかに、まずは百科事典にあたる。関連した事柄がわかって、そこから調べることが広がっていきます。
- 複数の資料にあたろう**
自分の持っている本や図書館でみつけた本を読み比べてみよう。書いてあることがちがうかもしれません。
- 図書館での関連の講座に参加しよう**
調べる学習のやり方は、学校の授業のほかに、図書館でも教えてくれることがあります。おうちの人や友だちと行ってみよう。きっとヒントがえられるはず。



その1 テーマを決めよう

テーマを決めるのが、実はいちばんたいへん。疑問やふしぎをさがしてみよう!

- 身のまわりをよく見よう**
生き物、草花、食べ物など、よく見ると生活の場には調べるテーマがたくさん。ふしぎなことや興味を持っていることなどを調べてみよう。家族や友だちとの会話や、新聞・テレビ、教科書の中にもテーマに気づくヒントが隠れているかも。
- 「どうしてかな?」と疑問の形で考えてみよう**
「雲の形はどうしてみんな違うのかな?」「ダンゴ虫はなぜ丸くなるの?」「なぜかな?」「どうしてだろう?」と考えてみよう。ふしぎな気持ちが大きくなっていきます。



- 比べてみよう**
自分が住んでいる土地ではこうだけれど、ほかの場所ではどうなっているかな? 今はこうだけれど、昔はどうだったのかな? 比べてちがいに気づくと、調べたくなってきます。
- 仮説をたててみよう**
答えはこうかもしれないと予想してみよう。テーマによっては、なぜそう予想したのかを考えてみると、頭の中も整理されたり、どこでどう調べればよいかかわかってきます。
- とりあえず、テーマを決めよう**
大まかなテーマしか思い浮かばないときは、少しだけそれを調べてみるのも良い方法です。自分が本当に興味を感じるテーマがきっと見つかると思います。